

豊作の女神

適用拡大

使用方法

くり

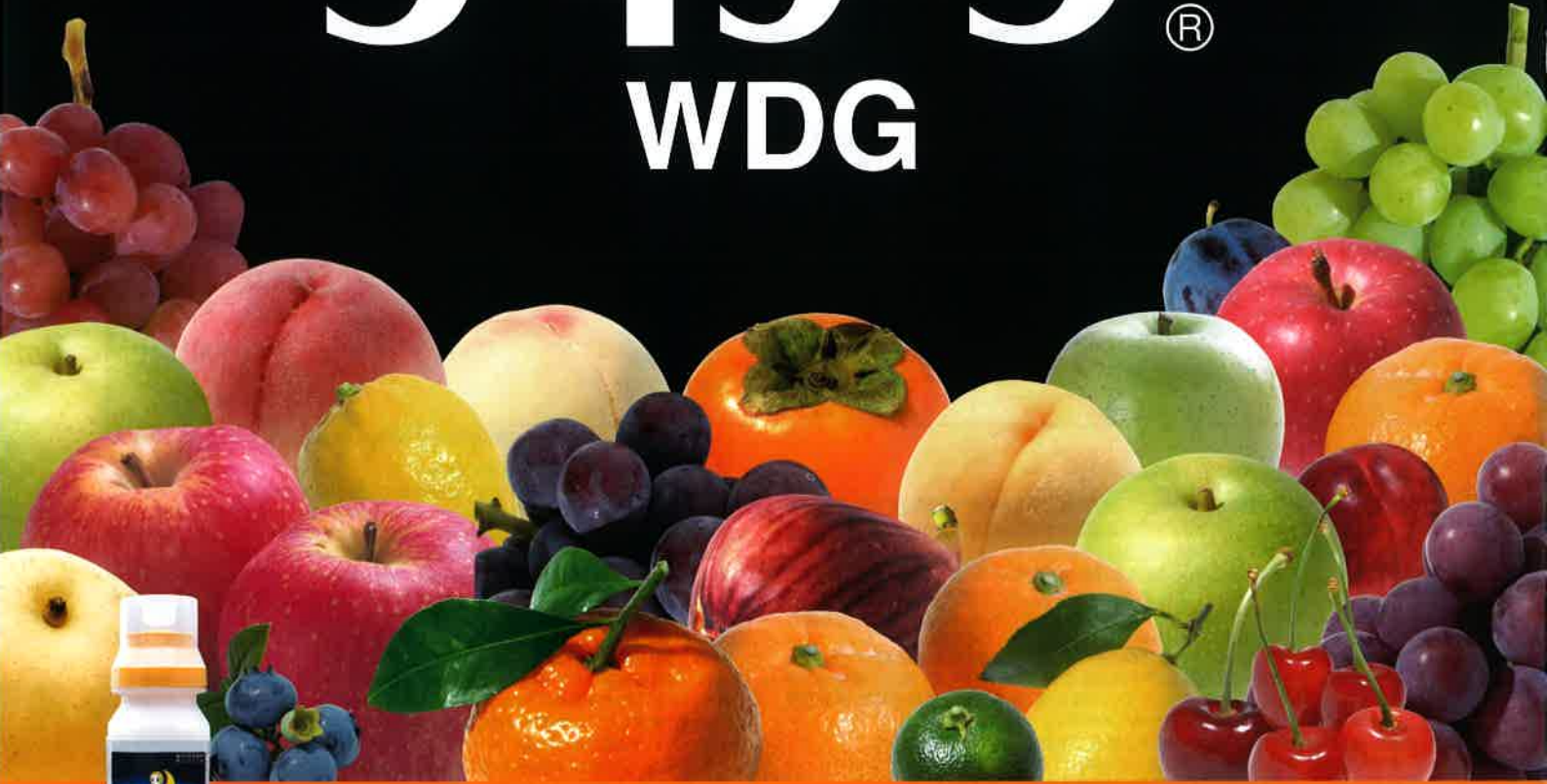
(無人航空機に)
よる散布

※詳細は裏面でご確認ください。



殺虫剤

ディアナ[®]
WDG



適用作物が増え、さらに便利に!!

様々な害虫から大事な作物を守り、豊かな実りをかなえます。

☾ 広い殺虫スペクトラム ☾ ハマキムシ類に優れた効果 ☾ 収穫前日まで使用可能



殺虫剤

ディアナ[®]
WDG

●広い殺虫スペクトラム

チョウ目害虫、アザミウマ類、オウトウショウジョウバエに対し、防除効果を発揮します。

●ハマキムシ類に優れた効果

各ステージ(卵・幼虫・成虫)に対し、防除効果を発揮します。

●収穫前日まで使用可能

【適用害虫と使用方法】

殺虫剤分類 5

農林水産省登録 第22909号

有効成分:スピネトラム…25.0%

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	
りんご	シンクイムシ類、ヨモギエダシャク ケムシ類、キリガ類	5,000~10,000	200~700 ℓ/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	
	ハマキムシ類 ギンモンハモグリガ キンモンホソガ	5,000~15,000					
もも ネクタリン	モモハモグリガ、シンクイムシ類 ハマキムシ類、アザミウマ類	5,000~10,000					
おうとう	オウトウショウジョウバエ ハマキムシ類、アザミウマ類						
かき	アザミウマ類、ハマキムシ類 カキノヘタムシガ						
なし	シンクイムシ類、ハマキムシ類 チュウゴクナシキジラミ アザミウマ類						
うめ	ケムシ類、ハマキムシ類						
小粒核果類 (うめ、すももを除く)	ハマキムシ類						
すもも	シンクイムシ類						5,000
ぶどう	アザミウマ類、ハマキムシ類 クビアカスカシバ、ハスモンヨトウ						5,000~10,000
かんきつ	ミカンハモグリガ アザミウマ類、コナジラミ類 ミカンキジラミ ヨモギエダシャク、ケムシ類 ハマキムシ類、アゲハ類						
	ハスモンヨトウ						10,000
いちじく	アザミウマ類						5,000
	ショウジョウバエ類						10,000
ブルーベリー	アザミウマ類、ハマキムシ類 オウトウショウジョウバエ ブルーベリータマバエ						5,000~10,000
マンゴー	チャノキイロアザミウマ						10,000
くり	モモノゴマダラノメイガ						
さんしょう(果実) アロニア	アザミウマ類		5,000~10,000	2ℓ/10a	無人航空機による散布		
	シンクイムシ類	10,000	200~700 ℓ/10a	散布			

2023年8月現在の登録内容(太字は2023年3月22日適用拡大)

使用上の注意

■ 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法にあわせて調節してください。

■ 散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布してください。

■ 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
桑葉にかかった場合には使用後約1ヶ月間は蚕に給餌しないでください。

■ ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。

① ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。無人航空機による散布でそれらに飛散するおそれがある場合には使用しないでください。

② 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。

③ 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。

■ 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意を守ってください。

① 散布は各散布機種に適合した散布装置から実施してください。

② 散布にあつては散布機種に適合した散布装置を使用してください。

③ 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。

④ 散布薬液の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等に影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意してください。

⑤ 散布終了後は次の事項を守ってください。

(a) 使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に廃棄してください。

(b) 機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。

■ 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

■ 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

■ 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。

■ 散布の際は農業用マスク、手袋、長スボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするともに衣服を交換してください。

■ 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。

■ かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

■ 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。

■ 無人航空機による散布を使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。

■ 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。 ● ラベルの記載以外には使用しないでください。 ● 小児の手の届く所には置かないでください。 ● 空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

2308SC/ZS10



本社 鹿児島市南栄2丁目9 ☎099-268-7588
宮崎事務所 宮崎市神宮東3丁目6-19 ☎0985-25-7051